◆財産の取得について

市営鵜ノ木団地建替事業で建設されるB棟などを取得するもの

Q 鵜ノ木B棟を建てるに当たって改善された点は。

A 福祉車両などの利用が多いため、外来者駐車場の台数をA棟より6台増やして10台とし、住居部分は、玄関ドアの鍵の取り付け位置や台所の流し台を低くした。

Q 鵜ノ木団地の一般募集に関しての方針は。

A 子育て世帯枠を設けるなど、団地内のバランスがとれるような枠組みを設定し、団地全体の活性化が図られるよう募集を行う。

建設中の市営鵜ノ木団地B棟

◆市道路線の認定について

都市計画道路整備により新設する路線の市道認定

Q 狭山市駅加佐志線の道路認定を先行実施するメリットは。

A 道路の予定区域を公にすれば、事業化が明確になり、国の補助金交付が見込める。また、権利者には用地買収に伴う譲渡所得などの課税の特例が適用され、円滑な事業展開が図られる。

議員提出議案

◆安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書

提出議員　齋藤　誠

（可決・3ページ参照）

◆狭山市奨学金貸与制度の運用適正化による具体的運用基準の見直しにあたり各種要件について柔軟に対応することを求める決議（否決）

提出議員　大沢えみ子

採決の結果

平成28年第４回定例会では、市長提出議案20議案と議員提出議案２議案を審議し、採決の結果、市長提出議案はすべての議案を可決しました。採決結果の一覧です。

◆賛否が分かれた議案

起立（賛成）…○、着席…×、討論者…討、議長は採決には参加しません

議案番号	議案名＼会派名・議員名	創政会					創造					公明党				日本共産党			新政みらい	はつらつ		無
		千葉	三浦	笹本	新良	田村	西塚	金子	矢馳	太田	町田	綿貫	加賀谷	齋藤	磯野	望月	大沢	猪股	内藤	土方	中村	大島	高橋
86	狭山市市民交流センター及び狭山市駅西口市民広場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×討
88	平成28年度狭山市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×討
議4	狭山市奨学金貸与制度の運用適正化による具体的運用基準の見直しにあたり各種要件について柔軟に対応することを求める決議	×	×討	×	×	×	×	×討	×	×		×	×	×	×	○討	○	○討	×	×討	×	×	○

◆全員が賛成した議案

市長提出議案／条例の一部改正行政組織条例、地区センター設置条例、印鑑条例、税条例、公民館条例、こども医療費支給条例、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例、学童保育室条例、在宅心身障害者福祉手当支給条例、国民健康保険税条例、工場立地法地域準則条例　補正予算水道事業会計補正予算（第１号）、下水道事業会計補正予算（第１号）　その他財産の取得、損害賠償額、市道路線の認定（２件）、都市競艇組合の規約変更　**議員提出議案**／安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書

今後の公共施設のあり方と都市型水害対策などを調査

総務経済委員会

担当者から事業概要の説明（南砺市）

実施日　7月26日（火）～27日（水）
視察先
南砺市／公共施設等総合管理計画（及び公共施設再編計画）
七尾市／公共施設等総合管理計画

実施日　10月18日（火）
視察先
佐倉市／ファシリティマネジメント
杉並区／都市型水害対策
参加者
太田　博希　　三浦　和也
高橋ブラクソン久美子　　加賀谷　勉
猪股　嘉直　　中村　正義
田村　秀二　　町田　昌弘

総務経済委員会では、狭山市公共施設等総合管理計画の策定を踏まえ、今後の公共施設のあり方などを調査しました。

●延床面積を約50％縮減する計画

富山県南砺（なんと）市では、総論としての公共施設等総合管理計画や各論としての公共施設再編計画を策定しています。「30年後の世代が安心して暮らしていける施設数、面積を算出したもの」「今の現役世代が将来に負担を残さないように、施設の具体的なあり方を明らかにするもの」として策定された計画は、公共施設の延床面積を約50％も縮減するといった、大変厳しいものです。その計画を、行政が住民のもとへ約40回も出向いて説明してきました。

●国の事業債を上手に活用

石川県七尾市の公共施設等総合管理計画は、人口減少に合わせて今後15年で公共施設の延床面積を20％削減するものです。これまでも少子化に対応するため、合併特例債を計画的に充当してきましたが、新たに公共施設最適化事業債を活用しています。中学校、公民館、武道館、図書館を行政庁舎へ集約することで延床面積を縮減し、事業債を獲得していました。

議場にて（佐倉市）

●経営的視点で施設を適正に管理

千葉県佐倉市は、「ファシリティマネジメント」という経営管理手法で行政経営をしています。これは、土地、建物、設備やそれらの環境を経営資源として捉え、経営的視点でコストの最小化や施設の効用の最大化を図るもので、公有財産の管理や有効活用、情報収集などを担うため「資産管理経営室」を設置し、ファシリティマネジメントを一元的に実践しています。

●都市型水害対策

8月22日に、狭山市でも台風9号の風水害で多大な被害を受けたため、総務経済委員会で急きょ、都市型水害対策の先進事例として東京都杉並区を視察しました。水防の手引き・洪水ハザードマップ、災害・気象情報電話通報サービス、高床化工事助成、防水板設置工事助成など、先進的な取り組みを学びました。

杉並区の水害対策の資料